

## 三小だより 9月号



三小HPはこちらから

## ノーレイン・ノーレインボー

校長 寺下 憲志

つかの間の夏休みが終わり、子どもたちが学校に戻ってきました。私は日課として、正門に立ち、子どもたちの登下校の様子を見ているのですが、背が伸びている（ように見える）児童が多いなという印象を受けました。小学校6年間で子どもは大きく成長します。私は2週間くらいでは何も変わりませんが、子どもたちは体も心も成長するでしょう。

保護者の皆様もすでにお気づきでしょうが、私は文を書くのが苦手です。「数学・生徒指導の先生」を言い訳にはいけないのですが、教頭先生から「校長先生、そろそろ原稿を・・・」と言われるたび「は、はい・・・、わかりました・・・。」となってしまいます。



今回の原稿を考えている最中、急な大雨、そして雷が鳴り響いていました。雨がやみ、空を見上げるときれいな虹がかかっていました。その虹を見ていて、こんな言葉を思い出しました。

「ノーレイン・ノーレインボー」＝「雨が降らなければ虹も出ない」、すなわち、「つらいことの後には、きっと良いことがあるはずだよ！」という励ましの意味があるハワイのことわざです。

コロナ禍の中、学校も様々な対応が求められています。すべてが「初めての対応」で、職員とともに日々「これでいいのか?」、「大丈夫なのか?」と悩んでいます。

本校のHPでも紹介していますが、日本赤十字社のHPに「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!～負のスパイラルを断ち切るために～」という資料があります。すでに見ていただいているかたも多いと思いますが、そこには、

- ・このウイルスには「病気」「不安」「差別」の3つの感染症（顔）がある
- ・「見えない」ウイルスに対する不安や恐れが、「見える」ものを嫌悪の対象にすりかえる
- ・特定の人や地域、職業などを「危険・ばい菌」といったレッテルを貼る心理で差別や偏見はおこる

そして、この3つの感染症を防ぐためには

- ・「確かな情報」を集め
- ・差別的な言動に同調しない
- ・この状況に対応しているすべての方々にねぎらい、敬意を払いましょう

と書かれています。

今月は修学旅行を予定しています。6年生の保護者には説明会でお伝えしましたようにできる限りの対策はしますが、完全はありません。10月に予定している「公開授業（ミニ運動会）」も初めての試みです。教職員も日々悩みながら取組みを進めていますが、保護者の皆様も同じではないでしょうか。

この状況で頑張っている子どもたち、それを支えている保護者や地域の皆様、教職員といった大人、つらいこと、難しい状況が続いていますが、教職員は、きっと良いことがある。そう信じて頑張っています。今月もどうぞよろしくお願いいたします。